

歴史まちづくり活動 概要シート

ブロック名	建築士会名	支部(地域会)名			
中四国ブロック	広島県建築士会	尾道支部			
活動団体名①	代表者連絡先	濱田昌範			
尾道市福山藩防地番所保存会	住所	尾道市山波町570-9			
	TEL	0848-20-7312			
	FAX	0848-20-7313			
活動団体代表者名	E-mail	hamada@mh-architect.com			
小川 豊文					
活動名	福山藩防地番所保存活動				
活動概要					
<p>福山藩防地番所は、江戸時代の国境番所として現存する、全国で3件ある番所のひとつです。番所は防地峠一福山・芸州領境の小高い場所に置かれ通行人の見張りを行っていました。広島藩側は「西の番所」、福山藩側は「東の番所」と呼ばれていました。幕末、この峠で尊王討幕の長州藩と徳川親藩の福山藩の武士たちが武器を構えて睨み合ったという歴史をもつ場所でもあります。廃藩置県以来ほとんど当時のまま残されている貴重な建物です。</p> <p>建物概要 屋根は本瓦葺き、竹割野地で、外壁は東西面を杉羽目板張りとし南面は灰漆喰塗り、北面は白漆喰塗りで仕上げられています。街道を見下ろす南側に番所の機能諸室を設け、北側を宿舎として使用していたようです。</p> <p>経緯 建物の老朽化が激しくなり 貴重な地元の文化資源として今後保存していく事が検討され、尾道市の指定重要文化財となることを目標に、2001年に、尾道市福山藩防地番所保存会が結成されました。保存会を中心に地元久保中学校や商工会議所による修繕費募金活動が開始され地元企業などから浄財が集まりました。2015年に、尾道市福山藩防地番所保存会、尾道市文化振興課、尾道市文化財保護委員広島大学三浦正幸教授、(公社)広島県建築士会、地元ヘリテージマネージャーによる会合が開かれ、建物の現状の見学を行い、保存・改修に向けて現況調査・基本設計を、地元ヘリテージマネージャーによる共同企業体に委託することが決定し、2回の現地調査により結果を報告書にまとめ提出しました。2016年11月、尾道市文化財保護委員広島大学三浦正教授、尾道市文化振興課、ヘリテージマネージャーにより現地で今後の修復方針を確認しました。修復方針に基づく設計書、修復設計図概算修復工事見積書一式を、尾道市福山藩防地番所保存会、尾道市文化振興課に提出しました。今後は尾道市重要文化財の指定申請を見据えまずは修復工事に向けての調整を関係各位と協力しながら進めていく予定です。</p>					
活動の起因 (きっかけ)	上記記載				
地域貢献度	○				
	大変貢献している	少し貢献している	どちらともいえない	余り貢献していない	殆ど貢献していない
活動団体②	(主たる活動団体) 尾道市福山藩防地番所保存会		(協力活動団体)		
建築士会関係度 (建築士会単独=100%)			○		
	100~80%	80~60%	60~40%	40~20%	20~0%
その他 (展望・課題)	維持補修工事を行うにあたり、必要な資金を集める工夫と、長期的に安定した活動を継続していくためのサポーターを確保する事が今後重要な課題となっている。				

※地域貢献度・建築士会関係度は独自の判断で結構です。(該当箇所に○印)

- ・上段の活動団体名①は、建築士会名ではない活動専用の名称がある場合の名称です。
- ・下段の活動団体②は、主に活動している組織名と、共に実践している協力組織がある場合にはその名称をご記入ください。
- ・1案件につき本シート1枚で整理して頂けます様お願いします。